

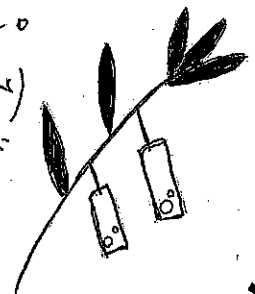
「お腹がすいた!」「背中が痛い!」「そこ触られるといやだな...!」「もう少しゆっくり食べさせて!」こんなことを伝えてくれる利用者さんは分かりやすいと思います。利用者さんの言った通りにすれば、とりあえずの事はクリアできるから。しかし言葉が発せられず、思いを伝えることが難しい利用者さんからは表情や声などで理解していくことが必要になります。これはとても難しいことです。「支:ごはんの時間になったので食べましょう!」「利:まだお腹減ってないよ...」「支:今日は夏日だからエアコンをつけよう!」「利:寒すぎる...」支援者がよかれと思っただけの支援と利用者さんの思いのズレは大なり小なりあると思います。その中で私たちは、なぜこの方はご飯を食べないのだろう?なぜ今日は暑いのに寒がっているのだろう?なぜこの方はこんな表情をしているのだろう?なぜ?なぜ?...常に「何故」という考えを持ちながら支援をしていくのが大事な事。そしてそれを自分の中だけではなく、チームで共有していく事、チームで支援していくことはもっと大事な事と日々感じています。 山口祐希

## すまいる班

今週のすまいる班では大きく育った野菜(トマト・キュウリ・パプリカ)の収穫をしました。野菜の感触を楽しみ、驚いた表情や笑顔を見せられました。  
読みまかせの時間には「トマトちゃん」や「巨大な昆虫図鑑」を見て楽しみました。

## こもれび班

7月に1回、暑い日2回過ごしているのが、そんな中、こもれびの創作では、七夕飾りを作りました。地の華に願い事を書いた短冊を飾りました。素敵な願い事が届きますように...



## ねくすと

暑い日が続いていますが、ねくすとでは外の作業も中の作業も暑さ対策をしながらがんばっています! (^^)  
物資販売は、2回目の仕分け作業があり、今回始めて作業をするなかまも慣れてきて、大活躍でした。  
今年もたくさんのご注文ありがとうございました!!  
心を込めて作った製品をお届けできることを嬉しく感じます。